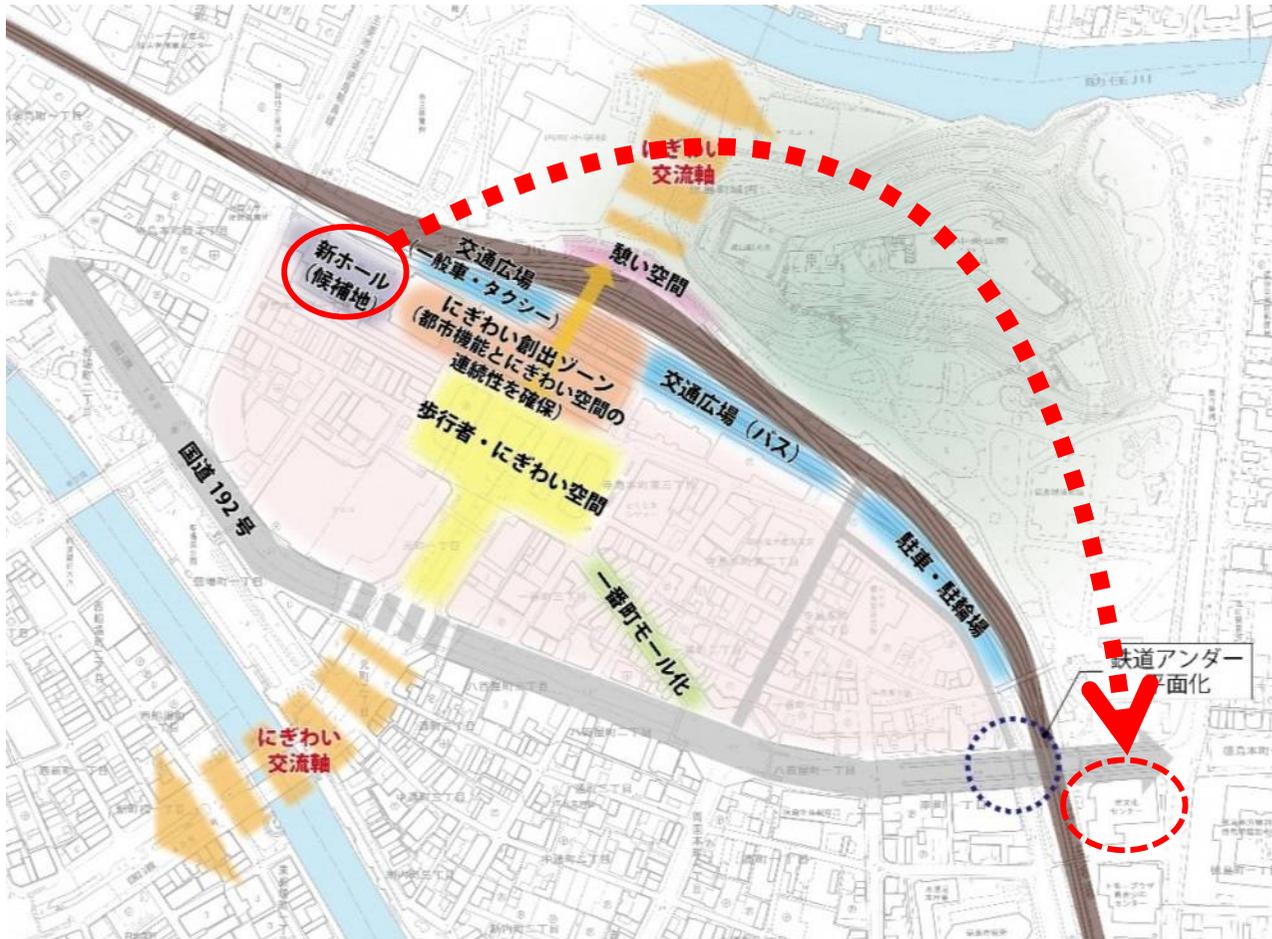


第1回 徳島駅周辺まちづくり計画検討会 資料①

1. まちづくり計画修正の必要性について



本市は、新ホール整備について、徳島駅西側駐車場を候補地とした整備を見直し、事業費を抑制しつつ、早期の整備が期待できる「文化センター敷地」を建設予定地とする整備方針を示した。

新ホール建設予定地が「文化センター敷地」となったことにより、徳島駅西側駐車場に新ホールが整備されることを前提としていた徳島駅周辺まちづくり計画の修正等について検討する。

2. まちづくり計画修正の考え方について

修正についての考え方

新ホール建設予定地が文化センター敷地となったことに伴い、徳島駅周辺のまちづくりについて、新たに議論が必要となる事項の検討を行う。

徳島駅に直近する駅西側駐車場に新ホールが整備されない影響を踏まえて、まちづくりの視点から必要となる施策を検討

検討に際しては、新ホール整備に係る検討会議の資料や意見書における徳島駅周辺のまちづくりに関連する部分を整理

- A) 徳島駅西側駐車場または文化ホール敷地に整備する場合のそれぞれの利点
- B) 文化センター敷地における課題のうち、まちづくりに関連するもの
- C) 新ホールにおいて実施する事業のうち、にぎわい創出につながるもの

徳島駅周辺まちづくり計画に新たな施策として反映

参考：新ホール整備についてのそれぞれの利点等

新ホール整備に係る検討会議の資料等から、

- A) 徳島駅西側駐車場及び文化ホール敷地に整備する場合のそれぞれの利点
- B) 文化センター敷地における課題のうち、まちづくりに関連するもの
- C) 新ホールにおいて実施する事業のうち、にぎわい創出につながるものについて抜粋

A

徳島駅西側駐車場に整備する利点

- 1 **中心市街地の核となる鉄道駅と連結したホールを整備できるという点で、市内に加え、周辺地域からの利用者の利便性が最も高い。**
 - ・日常的な文化交流拠点として、周辺地域の商業やビジネスを活性化させる。
 - ・公共交通利用の促進や中心市街地の活性化に向けた多様な施策に寄与することが期待できる。
- 2 **ホールでの鑑賞時に、開演前の待ち合わせや終演後の余韻を楽しむことができる周辺環境が重要な要素という点で、条件を満たす場所**と考えられる。

文化センター敷地に整備する利点

- 1 幹線道路に面するという立地条件から、シンボル性を演出しやすい。
- 2 周辺に、中央公民館や**中央公園など公共施設が立地していることから、周辺施設との連携**、さらに、将来的には周辺施設の再整備を踏まえたまちづくりの可能性についても検討することが期待される。
(新ホール建設候補地選定についての意見書 H29.05.17から抜粋)

B

文化センター敷地に整備する場合の課題のうち、まちづくりに関するもの

- 1 跨線橋又は地下道で線路を越えることから、**歩行者のアクセス性改善**を検討する必要がある。
(第1回新ホール整備検討会資料 H30.10.12から抜粋)

C

新ホールにおいて実施する事業のうちにぎわい創出につながるもの

- 1 交流事業：文化活動団体等や周辺施設とのネットワークを作り、新ホールフェスティバルなどの事業を連携して展開する。ホール周辺の公園、学校や福祉施設に向いてのミニコンサートなど、芸術文化に直接触れ合える機会を提供し、文化芸術活動を広げていく仕組みをつくる。

(第4回新ホール整備検討会資料 H30.11.05から抜粋)

3. まちづくり計画において検討する事項について

新ホールが文化センター敷地に整備されることによるまちづくりへの影響

新ホールのアクセシビリティの変化（徳島駅から徒歩1～3分 ⇒ 徒歩10～15分）

徳島駅～文化センター敷地における動線の利用者層の増加
（市役所、裁判所等利用、通学通勤及び周辺住民等 + 新ホール利用者）

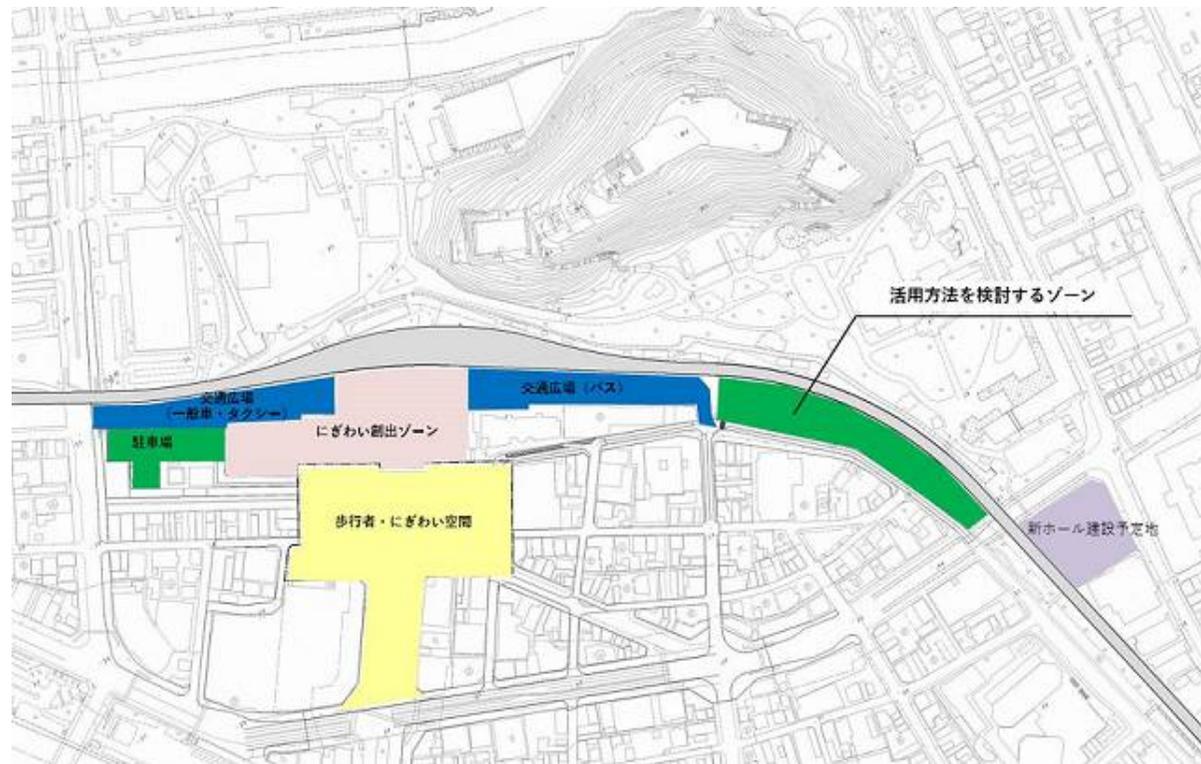
駅西駐車場に新ホールが整備されないことから、そのまま駐車場としての機能が残る



徳島駅周辺まちづくり計画において検討する事項

- 1 計画において、現行「駐車・駐輪場」としているゾーンの新たな活用方法
- 2 徳島駅周辺における車両（バス、一般車）の交通動線イメージ（※資料②・③により検討）

4. 計画の「駐車・駐輪場」ゾーンの新たな活用方法について



- ・計画において「駐車・駐輪場」としているゾーンの活用については、徳島駅と文化センター敷地との間の動線の観点から、新ホールの集客による人のにぎわいを駅前につなげる取組や、隣接する中央公園との連携を図る取組等について検討する。

活用方法についての例示

- 1 中央公園との近接性を重視した商業機能（飲食、ランニングステーション等）
- 2 新ホールとの近接性を重視した芸術文化関連機能の集積（画材・楽器等販売店、ギャラリー、工房等）
- 3 失われる風景を残す、車両基地公園として整備（車両基地の移設、枕木の活用、引退車両を活用した店舗等）
- 4 子どもが安全に遊べ、親子でキャンプもできる芝生広場（人工芝広場、調理設備等）
- 5 多世代交流や多業種交流が可能な交流施設（ファブラボ、コワーキングスペース、活動室等）
- 6 観光客を対象とした体験施設（藍染、木工業、阿波踊り衣装体験、LED工作等）
- 7 多様な活用ができる歩行者通路（エリアマネジメント等）
- 8 子育て支援機能などを集積した交流施設（授乳スペース、交流室、一時託児所等）
- 9 交通機能の強化・補完（送迎車停車スペース、バス一時待機所、駐車・駐輪場等）など

5. まちづくり計画修正のスケジュールについて

修正等のスケジュール（予定）

